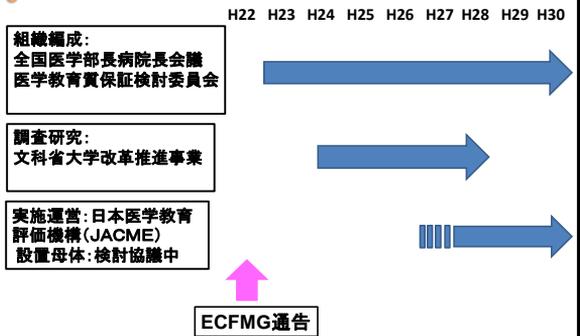


## 国際基準に基づく医学教育質保証

文科省大学改革推進事業:基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成  
「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」

東京医科歯科大学特命教授  
奈良 信雄

## 医学教育分野別認証制度の確立に向けた経緯と計画



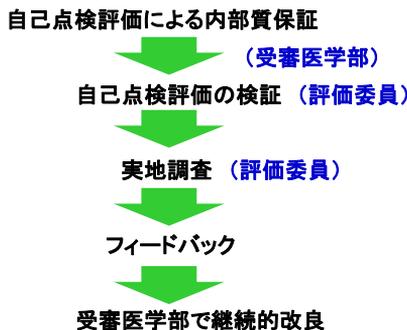
## これまでの活動実績

- 医学教育分野別評価確立に向けた検討委員会開催(毎年数回):  
医学教育質保証検討委員会  
文科省GP連携校委員会  
評価基準の策定  
評価者養成ワークショップ開催(毎年1~2回)
- トライアル評価  
2013年12月16日~20日新潟大学医学部  
2014年1月20日~24日東京医科歯科大学医学部  
2014年6月2日~6日東京慈恵会医科大学医学部  
2014年6月30日~7月4日千葉大学医学部  
2015年2月16日~20日東京大学医学部  
(AMEWPR Michael Field 会長陪席)

## 平成27年度以降の計画

- 平成27~28年度 医学教育分野別認証評価試行  
平成27年度は7校で実施
- 平成27~28年度 JACME設立へ向けての準備
- 平成27年秋以降 JACME発足
  - ・世界医学教育連盟WFMEによる認定
  - ・JACMEによる分野別評価本格実施
  - ・認証校を順次FAIMERに登録

## 分野別評価のステップ



## まずは受審体制を

- 受審の決定: 医学部全教職員の総意
- 自己点検評価書の作成  
評価基準Area1~9の全項目を自己点検
- 委員会の発足: 受審1.5~2年前  
委員会構成: 各領域毎に担当教員+職員  
教職員はデータを集め、解析し、自己点検。  
委員会は1/月ほど開催し、それぞれの評価を点検、全体のバランスをとる。
- 自己点検書の印刷
- 評価委員に郵送: 実地調査の2.5か月前

## 自己点検内容

### 基本的水準／質的向上のための水準

#### A 水準に関する情報

現状説明とそれを裏付ける根拠資料

#### B 水準に対する現状分析

根拠資料に基づいた現状分析

優れた点・特徴と改善点

#### C 現状への対応

優れる点・特徴を伸ばすために現在行われている活動

改善すべき点について現在行われている活動

#### D 改善に向けた計画

優れた点・特徴、改善点を踏まえた中・長期の行動計画

7

## 受審大学が当日までに準備すべき資料・情報

＞根拠となる資料：受審大学が選択

＞必須資料：

- 大学・医学部概要、シラバス、学生便覧、実習ノート（ログブック）、実習書、評価票
- 学則・学校法人の組織図、教学関係の組織図、事務組織の組織図
- 学生数、教員数などのデータ、学生支援組織図（カウンセリングを含む）、教育関係委員会規程、内規
- 学則、規程・内規、教育関連病院、分野別評価で評価される教務委員会等の委員会議事録
- 教養教育の内容がわかるもの。

## 評価委員による自己点検評価書の確認

- 自己点検書の精査

受審2.5～1か月前

- 質問書作成、追加資料請求

・・受審校へ送付 1か月前

9

## 実地視察調査

- JACME委員を中心に、約6～9名の評価委員が受審医学部を視察調査する。

- 日程：

月曜日午後：委員が集合、調査方針討議

火～木曜日：医学部関係者と討議（自己点検評価報告書の確認、質疑）、学生・教員・研修医等インタビュー、講義・実習等視察

金曜日午前：評価委員が報告書作成、医学部教職員を集めて講評

- 報告書を医学部に送付、フィードバック
- 医学部からの応答を経て、最終報告書作成、公開

10

## 実地調査スケジュール(例)

	1/20(月)	1/21(火)	1/22(水)	1/23(木)	1/24(金)
実地調査日程	9:00	開場	開場	開場	開場
	10:00	評価委員会委員と外部評価委員との打合せ	図書館見学 スキルスラボ見学	Area7討議	外部評価者による打合せ
	11:00	設営 開会式	臨床実習視察	講義視察2 講義視察3	講義視察4
	12:00	Area1討議	Area3討議 Area4討議	Area8討議 Area9討議	外部評価者による打合せ 講評・閉会式
	13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
	14:00	設営 面談1 (研修医)	Area5討議	面談3 (教員)	外部評価者による打合せ
	15:00	Area2討議	講義視察1	実習視察1 実習視察2	
	16:00		面談2 (若手教員)	面談4 (大学院生)	
	17:00	外部評価委員による事前審査の回答確認	Area6討議	視察研究室1 視察研究室2	面談5 (学部学生)

## 実地調査に当たっての準備

- ＞ 実地調査の準備

日程表の作成(あらかじめ評価委員と相談)

会議室確保(討論、面接、評価委員会議用)

会議が円滑に進むように適切な部屋を

出席者の手配、連絡

自己点検評価書、資料集等の準備

講義、実習室、病棟、外来等視察箇所の確保

面接者の選択、連絡

## 報告書

- ✓ area毎の評価報告書・評定(案)  
実地調査金曜日午後～1週間後
- ✓ 評価委員会  
評価報告書(案)作成 4週間後  
適・不適の確認 4週間後
- ✓ 総合評価委員会で案の承認 6週間後
- ✓ 受審大学へ通知、意見申し立て 7週間後
- ✓ 意見申し立て締め切り 11週間後
- ✓ 意見申し立ての検討(総合評価委員会)12週間後
- ✓ 評価報告書の確定 16週間後
- ✓ 理事会で審議、理事長の承認 18週間後
- ✓ 受審大学へ通知、公表 19週間後

## 報告書の概要

- Area毎に
  - 良い点:各医学部で優れた点、特色ある取り組み等……他医学部の参考になる。
  - 改善を要する点:国際基準からみて必ずしも適格でないので、改善した方が良い……  
提言/助言:各医学部は報告書に基づき、改善計画を提示。
- 評価、改善計画、進捗状況はJACMEのHPで公開する。

14

## 判定と認証評価サイクル

- 判定
  - 完全認証
  - 条件付き認証
  - 保留
  - 不認証
- 認証評価サイクル
  - 完全認証は7年毎(機関別認証の中間時期)
  - 条件付き認証、保留、不認証はより短期間内で再評価

15

## まとめ

- 医学教育分野別認証評価は、決してECFMGの要件適否だけを目的としたものではない。
- 自己点検評価、第三者評価によって自学の教育プログラムを見直し、改善することで教育の質を保証する。もって社会から信頼を得る。  
……PDCAの一環
- 自己点検には、教育にかかるすべての教職員が参加してデータを集め、解析し、評価する。  
学生、研修医、教員等の意見も反映する。
- 認証評価は単発でなく、継続的な改良が重要。  
……このためにはIRの活動が欠かせない